

岩木健康増進プロジェクト

認知症発見へ検査追加



筋力の測定を行う参加者（中央）

14年目の調査スタート

弘前市岩木地区の住民を対象に、弘前大学や弘前市、県総合健診センターが取り組む「岩木健康増進プロジェクト」の健康調査が26日、

同市岩木文化センターあそべーるなどで始まった。短命県改善を目標に、来月4日まで地区住民約1100人が2000項目に及ぶ検

査を受ける。

同プロジェクトは今年で14年目。調査で得られたデータを分析し、病気の新しい予防法の提案などを行うことで健康づくりにつなげる国家的なプログラム「COI」の取り組みの一つ。検査内容は問診や身体計測、体力・運動機能検査などさまざまな種類がある。今年度は、認知症の早期発見に役立つ嗅覚検査や野菜に含まれる色素カロテノイドを

測定し皮膚の抗酸化の度合いを数字で示す検査などが追加された。参加者は早朝から会場各所に設置されたブースで、スタッフらの指示に従って検査を受けた。

同COI研究推進機構の村下公一教授は「ビッグデータ分析によって、岩木地区から日本全国、世界に健康づくりのための新たな知見を見いだすことができ」と意義を語った。

（目時壮大）